

(写真)



【事業の目的】

本地区は、市役所や裁判所等の公共施設が集中する官庁通りの一角にあり、駅前から続く商店街にも隣接しています。

ここに立地する市立病院は築後40年以上が経過し、老朽化・狭隘化に加え、駐車場不足という問題を抱えており、入院・外来患者のみならず、医療スタッフにとっても使いにくい施設となっていました。

少子高齢化社会に向けた利便性の確保、公益施設としての機能の集約、中心商店街との連動といった観点から、現在地での建替えを行い、地域基幹病院としての建物強化、養生環境機能の充実、駐車場対策などを講じることによる安心・安全・利便性の向上を図ること、また、一日当たり約千人の外来患者が見込まれることから、隣接する商店街、市役所、図書館などと連動した回遊性の向上を図るため、病院の敷地内（駐車場のコーナー）に外来患者や見舞客が外に出て休憩やお話ができ、そこから街に回遊してもらうことを目的としたポケットパーク（花や木を植えベンチを設けた小さな緑地）を設置し、患者のみならず医師等にも選ばれる「新病院」を提供することにより、にぎわいの創出と中心市街地活性化につながっています。

【施設の概要】

事業期間：平成18年度～平成23年度
 施行者：滝川市
 所在地：北海道滝川市大町2丁目2番34号

地区面積：1.9ha
 敷地面積：15,304㎡
 建築面積：6,850㎡
 延床面積：24,079㎡
 用途：1～2階 外来
 3～7階 病棟
 階数等：地上7階、地下0階、1棟、RC造
 一部SRC造免震構造
 総事業費：10,674百万円
 うち国費：664百万円

位置図



配置図

